

令和元年8月定例会 提案説明要旨

(はじめに)

関西広域連合議会令和元年8月定例会の開会にあたり、議員の皆様へ感謝とご挨拶を申し上げますとともに、引き続きご指導、ご協力をいただきますよう、よろしく申し上げます。

はじめに、さる7月6日に、アゼルバイジャンで開催された第43回世界遺産委員会において、ここ堺市の百舌鳥古墳群が古市古墳群とともに世界文化遺産に登録されることが決定しました。登録に向けてご尽力いただいた関係者の皆様へ敬意と感謝を申し上げます。

関西広域連合では、この百舌鳥・古市古墳群などを題材とした歴史文化遺産フォーラムの開催を9月に予定しており、この古墳群をはじめ関西の歴史的文化遺産の魅力を引き続き発信していきます。

それでは、提案理由の説明に先立ち、7月臨時会以降の主な取組についてご報告します。

(京都アニメーション第一スタジオにおける火災)

第1は、京都アニメーション第一スタジオにおける火災です。

7月18日に発生した京都アニメーション第一スタジオにおける火災は、多くの犠牲者が出る大変痛ましい事件となりました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、負傷されました皆様の一日も早い回復を心からお祈りいたします。

関西広域連合では、地元自治体が事件の原因究明や検証、消火・避難訓練の徹底、住民へのケアを実施するにあたり、消防庁、資源エネルギー庁、警察庁が適切な支援に取り組むことを求め、とりわけ、ガソリン販売時の安全対策徹底について、制度改正も含めた対応を講ずるよう緊急要請を行いました。

(広域防災の取組)

第2は、広域防災の取組です。

大規模地震等により、公共交通機関が運行を停止した場合に発生する帰宅困難者の対策については、鉄道事業者、関係機関等が参画する「帰宅支援に関する協議会」が検討を進め、「関西広域帰宅困難者対策ガイドライン」(案)を作成し、7月25日の広域連合委員会において協議しました。

今後、9月に開催する同協議会においてガイドラインを策定、公表するとともに、図上訓練を実施するなど実効性を高めていきます。

(広域計画の策定)

第3は、第4期広域計画の策定です。

8月22日に開催された広域連合議会の全員協議会での広域計画等推進委員会委員との意見交換の内容も踏まえて、現在中間案の策定を進めています。

今後は、総務常任委員会にお示ししたうえで、10月末を目途に中間案を作成するとともに、パブリックコメントや市町村との意見交換会などを通じて中間案に対する意見を集約し、最終案をまとめます。

併せて、次期関西創生戦略についても、広域計画と一体的に策定作業を進めます。

(政府機関の移転と地方分権改革)

第4は、政府機関の移転と地方分権改革です。

6月に政府の「まち・ひと・しごと創生本部」において示された消費者庁等の移転方針を踏まえ、令和2年度からの恒常的な拠点として、「消費者庁新未来創造戦略本部」の徳島県への設置が8月19日に発表されました。今後も引き続き、政府機関等の関西への全面移転の実現に向けて、構成府縣市と共に取り組んでまいります。

また、地方分権改革に関する提案募集は、導入から6年目となり、一定の成果が認められるものの、個別の事務について地方側から支障事例を示し、国へ制度改正を求めるものであり、国と地方の役割分担を見直すような大胆な権限移譲にはなり得ません。このため、関西広域連合から地方分権改革の新たな推進手法として、第1に、国と地方の協議の場における分科会の設置、第2に、特区のような方式による新たな権限移譲に関する枠組みの創設、第3に、国と地方が共同して課題解決を実証する仕組みの導入を提案してまいります。

(「ワールドマスタースゲームズ2021関西」の開催支援等)

第5は、「ワールドマスタースゲームズ2021関西」の開催支援等です。

組織委員会、開催府縣市実行委員会、及び競技団体等と連携しながら、国内3万人、海外2万人の参加者獲得に向け、大会準備・広報誘客活動に鋭意取り組んでいます。

国内からの誘客については、7月23日、24日に富山県で開催された全国知事会においてPRを行いました。引き続き中央競技団体と連携を図りつつ、競技別マスタース大会、国民体育大会、日本スポーツマスタース、ねんりんピック等において、広報に努めます。

海外からの誘客については、去る7月26日から8月4日にかけてイタリアで開催された「ヨーロッパマスタースゲームズ2019トリノ大会」においてブースを出展し、関西大会参加への働きかけを行うとともに、開会式やパレードへの参加、関西スペシャルナイトの開催など様々な機会を活用し大会PR

に努めました。

今後、11月の参加者募集要項の発表、来年2月の参加者エントリーの受付開始に向け、着実に準備を進めます。

（「交流型環境学習」の実施）

第6は、琵琶湖を親子で学ぶ「交流型環境学習」の実施です。

7月20日と8月10日に、滋賀県が保有する環境学習船「うみのこ」を活用した親子体験航海を実施しました。航海では、琵琶湖に生息するプランクトンの観察や、雄大な景色を展望していただき、参加者からは、「琵琶湖だけでなく水環境の保全についての関心が高まった」等の感想が寄せられました。

関西の地域特性を活かした環境学習の取組を通じて、環境先進地域「関西」を担う人材の育成に努めてまいります。

（資格試験の実施）

第7は資格試験の実施です。

今年度の調理師、製菓衛生師試験を7月14日に10会場で実施し、8月23日に合格発表を行いました。調理師試験の受験者数は4,170名で、合格率は71.0%、製菓衛生師試験の受験者数は1,794名で合格率79.7%でした。

また、これまで滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県及び徳島県で行っていた登録販売者試験を、今年度から関西広域連合で一元的に実施しました。8月25日に8会場で実施し、受験者数は約9,700名でした。

さらに、今年度から新たに実施する毒物劇物取扱者試験についても円滑な実施に取り組みます。

（提出議案の説明）

これより、提出した議案について説明します。

まず、第3号議案「平成30年度関西広域連合一般会計歳入歳出決算認定の件」です。平成30年度決算は、歳入23億6,197万7千円余、歳出23億1,027万4千円余で、歳入歳出差引残額は、5,170万3千円余です。

また、この決算について、先に監査委員の審査に付しましたところ、別添のとおり決算審査意見書の提出がありましたので、今回、関西広域連合議会に報告するものです。

次に、第4号議案「令和元年度関西広域連合一般会計補正予算（第1号）の件」です。歳入歳出それぞれ4,348万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を24億2,923万2千円とします。このたびの補正予算は、平成30年度決算に伴うもの、ドクターヘリ事業に係る平成30年度国庫補助金の一部返還に伴うもの及び資格試験・免許事業に係る平成30年度剰余金の資格試験等

基金への繰り出し等に伴うものです。

(おわりに)

以上で提出議案の説明といたします。議員の皆様におかれましては、よろしくご審議をいただきますようお願いいたします。